

夢の宅配便

小田原市立城山中学校

学年主任 水野喜代治

「明日は七夕」

明日は、七夕です。夏の夜空に織姫星と彦星が輝いています。織姫星は、天帝の娘で、機織りが上手なきれいな娘です。彦星は、働き者で牛の世話をしている素敵な若者です。この二人がお互いの魅力にひかれて、結婚します。天帝も二人の幸せを祝福します。

しかし、二人は仲が良すぎて、楽しくて、はたを織ることも牛の世話をすることも忘れてしまいます。そのため、天界では、布が足りなくなったり、牛が病気になってしまったりと大変なことになってしまいました。そこで、天帝は二人の仲を引き裂いて、天の川をはさんで織姫星と彦星が会えないようにしてしまいました。織姫星は悲しくて涙が止まらなくなってしまいました。天帝は、娘が泣いているのを見て、年に一度、7月7日に天の川を渡って会うことを許すことにしました。

明日は、夜空いっぱいに星が輝くのを見られたらなと思いをはせていました。すると、私の横の机に座っている米谷先生がすかさずスマホで天気予報を見て、「明日は確実に、雨です。」と私の夢を打ち消しました。ロマンが予報を外してくれればと思います。明日、星が輝いたら、夜空を見上げて、天の川を挟んだ両脇に輝く、こと座のベガとわし座のアルタイルを探してほしいと思います。そして、二人をつなぐ白鳥座も……。

キヨたんの歌



夏の夜に
母の背中で
星を見た
臉に浮かぶ
青い輝き